

# 生ける水

発行者 福音教会連合  
 日本福音教会連合  
 岡山市北区丸の内  
 1丁目11番15号  
 理事長 倉賀野 政  
 編集長 田 正 信

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

## 目次

P.1	賜わりし復活の命	石井 敬子
P.1	時の声	
P.2	教会巡り④ 大野伝道所	佐々木寛治
P.2~3	いのちの雫	加藤 信治
P.3	生きておられる神様	車 田 淑信
P.3	慕わしい御国	太 田 正 信
P.4	第41回総会・牧師研修会報告	
P.4	報告・案内 etc	

## 賜わりし復活の命

熊毛キリスト教会  
 牧師 石井 敬子



「事実キリストは眠っている者の初穂として死人の中からよみがえったのである」。

コリント第一15章20節

イースターおめでとーございます。今年は四月二十四日この日を迎え、もう一度復活の出来事を新たな思いで聖書に見、豊かな永遠の命を賜わりました恵みを感じたいとございます。

復活されたイエスさまが、初めに声をかけられたのは、マグダラのマリヤにでした。

「マリヤよ」

第一弟子のペテロにでもなく主の愛されたヨハネにでもありませんでした。主の母マリヤでもなかったのです。心の病のため苦しんでいたマグ

ダラのマリヤは、イエスさま伝道開始後、早い時期に癒され救われて、以後心をつくして主にお従いしておりました。

三日前、全人類の罪を凡て背負って十字架に釘打たれ、筆舌に言い難いご苦痛を受けて私達一人一人のために罪を贖

って下さいましたイエスさまのみ姿、そのご遺体が十字架からおろされ、アリマタヤの町のヨセフという議員によつて、新しい亜麻布に丁寧に包

まれ、岩に新しく掘られていた横穴式のお墓に葬られ、入口には大きな石が置かれまし

た。イエスさまを悲しむ女性たちの中にあつて最後までその場を立ち去ろうとしなかったのがこのマグダラのマリヤでした。

翌日は安息日。

翌々日即ち十字架で息を引き取られて三日目の早朝、女性達はもう一度香料を塗るためにお墓を訪れましたところ

一昨日確かに封印されたはずの入口の石が転がされていました。

「イエスはよみがえってここにはおられない」とのみ使の

声。イエスさまはこれまでしばしご自身のご復活に関し、弟子達に宣べられていました。ご自分が必ずエルサレムに行

き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺されそして三日目によみが

えること(マタイ16章21節)マタイ17章9節には「人の子が死人の中からよみがえるま

では……」とか、「人の子は人々の手にわたされ、彼らに殺され、そして三日目によみが

えるであろう」(マタイ17章22節、23節)又、マタイ26章32節には「わたしはよみが

えつつから、あなたがたより先にガリラヤに行くであろう」等々。しかし墓を訪れた女性たちは、そのご遺体を見ることができなかった時、即座に「よみがえり」の事実と結びつけることができなかつたようです。

弟子達に現われ、天に昇天されるまで、苦悩の中から救出されたこのマグダラのマリヤやペテロ、ヨハネ、クレオパヤ、ルカ、十一人の弟子達が集まる中にも、又五百人の兄弟達、ヤコブにと現われたとパウロは証言してパウロ自身にも現われて下さったと言っています。

私達イエスさまのみ救をいただいている者は皆、このすばらしいご復活の主に直接お会いできた人々と同じイエス

さまのよみがえりの命の祝福にあずかっております。天国への入国が約束されています。過る日、周南(当時徳山)の地で伝道をと、後押し下され

応援下さった先生の奥様が、地上での御働きを全うされ召されました。十年前には牧師

先生とも地上でのお別れを致しましたが、再び主のもとでお会いし語り会える日が来るのです。

「キリストにあつてすべての人が生かされるのである」(コリント第一15章22節)

イエス・キリストによつて新しいのちに生かされている喜びを、心いっぱい感謝しつつ、この永遠の最高の恵みを人々にお伝えしつづけていきますように。マグダラのマリヤのように主に仕えましょう。

## 時の声

あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。悪しき日

がきたり、年が寄つて、「わたしにはなんの楽しみもない」と言うようにならない前に、(伝道の書12章1節)とあるが、年齢に関係なく人は自分の人生を楽しんでいる。

しかし、人生には想定外の悪しき日が突然襲ってくる。即ち、生きて以上何時も

死と隣り合わせの生活である。三大疾病や事故、自然災害に遭わず幸福な人生であっても、

「人が全世界を儲けても、自分の命を損したら、なんの得になるか。また、人は、どんな代価を払つて、その命を

買い戻す事が出来るか」(マタイ16章26節)と言われたイエス様のお言葉と「あなたの命をその手に握り、あなたのすべての道を司られる神を崇

めようとはしなかつた」(ダニエル5章23節)とベルシャザル王へのダニエルの言葉にどの様に反応するであろうか。『御子を信じる者は永遠の命を持つ。御子に従わない者は命にあずかる事はないばかりか、神の怒りがその上にとどまるのである』(ヨハネ3章36節)。

主の救いにあずかつて、神と共に人生を歩みましょう。

日本福音教会連合 教会巡り⑩

ホーリネス源流へ

還れとの厳命に歩む

大野伝道所

牧師 佐々木寛治

◆伝道所(準備室) 出発時に主の降された「ピカドン」

汝が幕屋のうちを廣くし、汝が住居のまくをはりひろげて喜むなかれ(イザヤ五四・二)

この御言は大野伝道所(準備室) 発足当日、二〇〇九年四月一日、早天デボーションにて賜ったものです。佐々木牧師は当然とつさに「公然と人々を呼び集めることの可能な会堂を与えるとの御約束だ」と直感しました。しかしこれを受けて同年イースター礼拝にイザヤ五四・一八からの説教が命ぜられたとき、

庄倒的な聖霊の溢れ出しのなかで——牧師に示されたことは、全く破天荒な、それこそ主が頭上に降された「ピカドン」でありました。  
①プロテスタント宣教一五〇年目を迎えた日本の教会は、神が叱責かつ約束されていることを真正面から受けるべきこと 汝孕まず子をうまざるものよ・汝に多くの子を授ける



②「新生日本に向け神が与えられる新教会のビジョンのため、伝道所はその存在を賭して歩むべきこと、

③みこ多教会ビジョンの根幹は、ホーリネスの源流に還り、聖霊の導きの下、神が発せられる生の声に聞き従うことのみをいのちのパンとするべきであること  
牧師の頭上に炸裂したこの鮮明強烈な示し。これに従うことなしでは牧師であることと認めないとする神の迫り。このとき以来、大野伝道所

の今日までの歩みは、ただ一筋の道——神から聖霊を吹き込み吹き込みして導かれる中で——みこ多教会ビジョンが次々と豊かに肉付けされていく、「ありえない出来事」の連続する旅路でありました。

この旅路の最初の総仕上げが、大野の地へ向けた礼拝堂の開堂です。伝道所(準備室) 出発以来一年半後の昨年九月にやっと、「公然と人々を呼び集めることの可能な会堂があのように奇跡的に与えられたこと」。これは、神が大野の地を祝福し、ここに向けてご自身の聖所を開かれたという、祝福の爆発以外の何物でもありません、ハレルヤ!

◆大野の地に向けて礼拝堂が開かれた、現在の伝道所生活  
伝道所準備室時代の一年半、その前一年間の福音館準備室時代。五軒の同じ間取りの貸家の一軒として、公然と集会することが禁止されていた敷地。この期間は「伝道所準備室内での朝・昼・夜の祈りに徹し、聖霊様が送られる魂のみと交わる」こと以外に前進の道はありませんでした。聖日四回の(殆んどいつも会衆なしの)説教は、このいのりそのものでした。  
そのような中でも神は当初から一人の障害を抱えた兄弟

を第二礼拝(午後二時より)に送って下さいました。彼は礼拝後、バスで岡山市南部に帰り、バス停から不自由な足で小一時間かけて帰宅されました。それが毎週のことでした。

大野伝道所に起きた「ありえない出来事」の大切な大切なひとつ——その後しばらくして彼の姉上も伝道所通いを始められ、共に第一礼拝にそろって参加、愛餐会をもつ喜び!しかし彼はまもなく入院することになりました。

このときから、この姉上のご夫君と伝道所の激烈な関係が始まりました。彼は彼女の伝道所通いにいらだっていました。ある集会で手話通訳の働きを目的にしたりして聖霊現臨、「おれは人の役に立つ老後を送りたい」と言っ



手話を習い始められる、従来からの彼からは考えられないことです。それはまず妻たる彼女が大きく変えられてきたことが明らかに原因となっていました。牧師自身も、礼拝堂開堂以来、人間的な欠けを神の御光の中で見せられ続け、みんなが次から次へと変えられていきます。また牧師は月二回、十数名の障害者礼拝の手伝いをしながら、「人間と生活とが鮮やかに作り変えられていく現場」を目撃させて頂いています。牧師であることに感謝。

聖日礼拝での彼女のいのりの特徴は「〇〇さんが良かったと喜ぶ出来事を一日のどこかに与えて下さい。そのためかにわたしがなにかする必要があったら使ってやって下さい」ということ、苦しさの中で頼ってくる人の要求のうちで何を自分がしてあげたらよいのかを問うこと、家族のために祈って下さっている(天上上の)聖徒への感謝です。ホーリネス源流の核心は信仰と祈りの大空の下、神に従うことのみをパンとして生きること。「神がご自身に従う者に賜った聖霊(使徒五・三二)により今日の御旨御言を知り、聖霊に導かれてそれに従い生きて、聖霊を更に賜る(自執の死ぬ)環境に生きることです。」

いのちの車

裁くこと刈り取ること

湘南教会

牧師 加藤 信治

「人をさばく。自分がさばかれないためである。……」(マタイ7・1・2)「……人は自分のまいたものを、刈り取るようになる。すなわち、自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取るであろう。」(ガラテヤ6・7・8)

自分の人に対する愛のレベルが低い、人とのコミュニケーションの持ち方に疑問を持つ、十分一生懸命やっているが将来に希望が持てない、様々な行き詰まりを感じて、自分を省みざるを得なかった。裁いてはならない。互いに愛し合いなさい。そこに祝福があると云われる。誰でもそうしたいと思っている。しかし、世の中に法や規則、道徳や基準があり、それに照らして自分や人の善し悪しを考え、無意識に人を裁いてしまう。心の持ち方、姿勢に問題を感じた。裁きは神に属する。自分も神の前に同じ罪を犯す者である。多くの負債を赦されながら人を裁く罪が戒められ

## 生きておられる神様

日本弟子達の教会

牧師夫人 車 在 淑



生きておられる神様を心から賛美します。わが日本弟子達の教会が開拓され、3年になりました。復活節を迎えて神様から頂いた恵みを分かち合う機会を頂き感謝致します。開拓されて三週目の主日が復活節だったと思います。ほとんどの教会は卵を用意したり、聖殿を綺麗に飾ったりしますが、その時のわが教会は特別になんの準備もなく復活の礼拝を捧げました。

多分イエス様の復活を記念して色々と用意する余裕がなかったと思います。金銭的な部分とか、特に協力者なしに始まった開拓だったからです。礼拝堂を借りて初礼拝を捧げた時は心配がありました。そのような私に神様の御声が聞こえました。「わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、

あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」ヨシユア1章9節

神様は私にただその場所になさい。とおっしゃいました。働くのは私だとおっしゃる神様の御言葉に私は慰められました。私は自分の力で何かをしようとして重みを感じ、苦しんでたと思います。しかし神様は御言葉通りなさり、今も神様がなさっております。

必要を満たして下さった復活の神様は私たちの教会に希望を与えて下さいました。

2回目の復活祭には何人かの信徒さんと協力して卵を用意したり、綺麗な生け花も飾ったりする喜びが与えられました。心から感謝です。開拓2年目にはより豊かな復活節礼拝を捧げる事が出来たのです。「あなたの始めは小さくても、その終わりは、はなはだ大きくなる。」という御言葉通り、神様は教会を守って下さいました。なによりも、この機会を通して私たちの家族を堅く守って下さいました。特に三人の息子達が成長し、神様の働き者として私達の伝道の協力者になったことです。一番目の子は伴奏者として、

二番目の子は映像で、三番目の子は交わりで協力しています。このすべてのことは復活のイエス様がいつも私たちと共に居て下さる恵みであります。使徒パウロが告白したよ

## 慕わしい御国

岡山勝栄基督教会

牧師 太田 正 信

うに、「私は、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。」というこの言葉を思いつつ、伝道に励みたいと思います。

愛する人と死別する悲しみ

は誰もが経験するものですが、小生は、10歳で祖父、12歳で次兄、18歳で母、22歳で父。牧師となつてから愛する兄弟姉妹、恩師と涙を流した事は少なくはありません。

昨年は、双子の初孫、弟の方の聖嘉(小学一年生、6歳)を天の御国におくりました。

「君は愛される為に生まれた」と言う歌がありますが、聖嘉はまさにその歌のとおりで、接する人々の内から愛を引き出しました。

「聖嘉君」と呼ばれた時の心底からの喜び、笑顔は、呼んだ人と周囲に同じ喜びが波及しました。

聖嘉は誕生時のトラブルで重度の身障となり、半年半の人生の後半は、入退院の繰り返しでありましたが私たちにとりましては、存在そのものが喜びであり、癒しであり生きる力を与え

てくれました。

疲れた時は、聖嘉を抱っこするだけで心が通い、平安が与えられ疲れが除かれ、力が与えられました。

私たち夫婦にとりましては子育て?再開の生活で、聖嘉の兄の琉嘉と二歳下の妹、愛嘉との生活は賑やかな忙しい中にも楽しいものでした。

聖嘉は童謡「小鳥の歌」が大好きで、全身で喜びました。子供賛美歌や新聖歌481「祈ってごらんよわかるから」などは入院中に母親が聖嘉を抱いてよく讚美しましたので葬儀でも讚美しました。

授業を受け、八日(土)午前入院となり、夜に人工呼吸器を付け、私どもは深夜呼び出しを受けました。九日(日)早朝の五時25分心臓停止。敗血症による死。突然の、一夜、数時間の事で現実の事とは思えませんでした。

聖嘉君に会いたい、あの笑顔を見たい、喜びに溢れた声を聞きたい。この思いは、私が召されるまで無くならないでしょう。

私たちは、御子イエス様の十字架により罪が赦され、救われて子とされ、永遠の命が与えられました。死によって肉体は土に返っても霊魂は神の元に帰ります。そして、愛する人との天国での再会があります。更に、イエス様と同じ栄光の体、同じ復活の体にあずかる復活の希望があります。最終には現在の天体は焼け崩れて、義の住む新しい天と新しい地が、私たちに約束されている事は何と感謝な事でしょう。

御国で愛する人との再会だけでなく、歴史上の聖徒、聖書人物など多くの人に会える楽しみ、その前に、イエス様御自身の御顔を拝し、心からのお礼と感謝を述べ、讚美を献げたいと思います。御国は何と慕わしい事でしょう。



五月七日(金)喜んで訪問

ている(マタイ18:21)。理屈はそうである。しかし、自分や家族を含めて繰り返し返される人との好ましくない関係がある時、怒ったりいらしいではおれない。また普段から心を抑え我慢していたりすると、心の怒りの流れは止まらない。

人は胎児の時から、人を裁く罪を犯すと言われる。自分の無意識の中に練り込まれているのだろう。養育者を裁き、自分自身をも裁き、怒り、恐れに捕らわれる。特に道徳的に振る舞うように教育された者はそのストレスを抱えている。

私は子供の頃、ずいぶん怒りを抱えていた。中学2年頃から教会へ行かず、しつかり反抗していた。それを押し殺して、偽りの慰めを得ることに慣れていった。しかし一面とても親を尊敬し、愛していた。父親を内心とても恐れていた。会社を退職して、親元で共に奉仕できることを喜ぶ一面、激しい怒りも持っていた。ずいぶん裁いてきたのだろう。なかなか屈折しているのだ。闘いを持ちつつも悔い改め、神の憐れみを請うた時、溶かされるものがあつた。父が近くなつた。自分を捕らえている否定的な思いから解放され、新しいものを受け入れる思いが与えられた。

# 第四十一回総会・ 牧師研修会報告

日本福音教会連合第四十一回総会が、三月七日(月)午後三時から八日(火)正午までコンフォートホテル岡山で教職、信徒代議員二十五名出席のもと開催されました。

開会礼拝で倉賀野攻理事長は、二〇一一年の連合の御言「イエスを仰ぎ見つつ走ろうではないか」(ヘブル12章2節)から説教され、主を仰いで総会はスタートしました。

議長、戸叶誠師、書記、稲田敏朗師が選出され議事に入りました。

第1号議案 二〇一〇年度事業報告。第2号議案 二〇一〇年度会計報告。第3号議案 二〇一一年度事業計画審議では、総務関係の10、規則2条 二〇〇五年前除した理事の業務分担復活を賛成多数(三分の二以上)で承認。教務関係 9、加入(矢澤新一郎師)は、総務関係の5、教会加入 千葉大宮キリスト教会と併せて個別で採決して承認。第4号議案 二〇一一年度会計予算審議と以上全員に承認されて総会初日プログラム終了。



総会二日目は、岡山中央基督教会で早天祈禱会。鄭順業師が詩編百30篇から、主を待ち望む事と悔改めについて語られ、先週、韓国の国家朝餐祈禱会で、悔改めを迫る説教者のメッセージに大統領自らが床に膝まづき(隣でご夫人も)祈られたお話しと写真は深い感動を受けました。

第5号議案 役員改選は、理事は一回の投票で決まらず

数回投票され、信徒理事1名については議長一任が提案され、提案を全員が承認して戸叶議長が、関東、中四国地区のバランスを考慮して大宮幸師を指名して理事全員が決まりました。

新役員は次の通りです。

理事長 倉賀野攻師  
副理事長 太田正信師

総務理事 〃  
教務理事 稲田敏朗師  
伝道理事 加藤信治師

財務理事 平井 猛兄  
厚生理事 大宮 幸師

理事 鄭 順業師  
監事 戸叶 誠師

監事 中原 勇兄  
第6号議案 特別事項

V、その他 議事録署名人 加藤信治師、平井猛兄を

選定して第6号議案承認。以上で総会は終了ですが、

倉賀野理事長が大川百合子姉の連合理事・会計(トータル二十年)ご奉仕に、全員

起立の中、謝辞を述べ御礼と拍手で感謝を表しました。

牧師研修会は、八日(火)午後三時から岡山中央基督教会で、九日(水)正午まで行

われました。

研修会テーマは「イエスを仰ぎ見つつ」で、研修Iは、

旧約聖書人物で主を仰いだ人「アブラハム」を阿部俊昭師

が講演下さり、その後、四グループに分れて、研鑽に入りました。

研修IIは、福音書聖書人物で主を仰いだ人「マタイ福音書の百卒長、カナンの女」を三浦正子師が講演下さり、講演後、四グループで研鑽。

研修会二日目の早天祈禱会は、太田正信師が「イエス様の祈りの生活」と題して、福音書やヘブル5章7節などから、イエス様の徹底した祈りと、祈りは神と一体となり神の本質に与かる変貌であるから、イエス様のような祈りの生活と語られました。

研修IIIは、使徒行伝聖書人物で主を仰いだ人「パウロ」を加藤信治師が講演下さり、講演後、四グループに分れて研鑽しました。

この度の研修会から、牧師資格に関係なく、牧師夫人としてご主人を支えておられ、研修会に出席できる方に案内されて、稲田陽子夫人が出席。また、矢澤新一郎師も出席で大変良きお交わりと研修が持

たれました。ハレルヤ。

閉会礼拝は、倉賀野攻師がイザヤ45章20、23節から「神を仰ぎ見る」事による救いとイエス様を仰ぎ見る事の重複する恵みを語られました。

この度は、連合の歴史の中で、初めてと思われる大幅な

役員の変更と若返りがなされました。

連合への主のご期待と御手を覚えませす。連合に属する皆様には、続いて連合のために、特に、理事のためにお祈りをお願い致します。

## 報告・案内

◆湘南教会(加藤信治牧師)の足立勲平兄(91歳)は、十二月十四日(火)愛する主の御許に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。

◆岡山中央基督教教会(倉賀野攻牧師)の山本伸江姉(85歳)は、一月十九日(水)愛する主の御許に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。

◆太田佐与子姉(88歳)は、二月十一日(金)愛する主の御許に召されました。

◆ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。

◆お祈りを感謝します。日本福音教会連合理事会は、2月13日(日)~14日(月)岡山中央基督教教会で総会のための良き理事会が行われました。

◆お祈りを感謝します。日本福音教会連合第41回総会は、3月7~8日(月~火)コ

ンフォートホテル岡山で、続いて牧師研修会が8日午後3時から9日(水)午後1時まで岡山中央基督教教会で行われました。

◆夏季聖会準備委員会と牧師研修委員会が、3月28、29日(月、火)とサンロード吉備路で行われました。

春の聖会ご案内  
日時 四月二十九日(金)  
午前、午後の二回  
講師 大友英樹師(日本基督教団、赤羽教会牧師)  
会場 聖泉キリスト教会

中国聖会ご案内  
日時 五月三日(火)午後二時から七時から聖会  
四日(水)早天祈禱会  
と午前十時から聖会  
講師 榊原 寛師(日本ホーリネス教団教職、NGOワールド・ビジョンジャパン理事長)  
会場 岡山中央基督教教会

夏季聖会ご案内  
日時 八月二日(火)午後三時から四日(木)午後一時まで  
講師 小柴義弘師(日本伝道隊理事長、白川台キリスト教会牧師)  
会場 サンロード吉備路

\*お祈りと共にご予約下さい。